

146高所作業車を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

| No | 年 | 月 | 発生時 | 死傷災害事例 | 年齢 | 事故の型 | 小業種 | 労働者規模 |
|----|------|----|-------|--|----|------|-------|---------|
| 1 | 2017 | 12 | 8~9 | 罹災者は、朝から7区のFP5+6ドッキング溶接に従事していた。FPの裏戻し作業で高所作業車に乗り、段取り作業を行っていた。高所作業車から降りる際に、高所作業車のバケットの降り口がFPブロックに近くて降りられなかったため、罹災者がバケットの横側を乗り越えて降りようとした際、バケットの手摺りに足が掛かり、高所作業車のバケット約1.5mから転落し、右膝を受傷した。 | 27 | 1 | 11501 | 500~999 |
| 2 | 2017 | 12 | 14~15 | 改札周りの金属パネル下地（C - 100×50×2.3≒4.1KL=1.07m）を取り付ける為に高所作業車を操作者が上昇させていたが、取り付け高さに至る前に部材の上部が取り付け箇所付近のスラブに当たった為、部材を持っていた被災者の左手人差し指が部材と手摺りに挟まれて受傷した。 | 58 | 7 | 30201 | 10~29 |
| 3 | 2017 | 11 | 9~10 | 被災当日、積雪による通行障害となる樹木伐採の緊急要請があり、管理業務の一環として出動し、現場にて樹木一部を伐採後、作業位置を修正するため車両移動の際、車両後方の操作盤にてアウトリガーを上げると、作業場所が雪の坂道であったために車両が滑り出し、後方に停めてあった2tトラックとの間に挟まれ負傷した。 | 64 | 7 | 30309 | 1~9 |
| 4 | 2017 | 10 | 11~12 | 街路樹剪定作業において高所作業車のジャッキアップを行うため、アウトリガーを自動セットしたが、アウトリガーの地面接地を確認せずに次の作業に取り掛かろうとしたところ、下りてきたアウトリガーと地面の間に右足つま先を挟まれ、 | 64 | 7 | 30109 | 10~29 |

| | | | | | | | | |
|---|------|---|-----------|---|----|---|--------|-----------|
| | | | | 右足親指と人差し指先端部を骨折した。 | | | | |
| 5 | 2017 | 9 | 9～ 10 | 道路橋の点検業務でBT400という橋梁点検車のアウトリガーを張り出し、作業を始めようとしたが、道路の幅員が狭く最低必要な張り出し幅が確保できなかったが、少しは出せていたため安全装置を無視し強制操作でなんとかやれないか試した結果、転倒してしまった。原因は、アウトリガーが十分に張り出してないのに作業を開始した、安全装置を無視して操作したためである。 | 34 | 2 | 170209 | 10～ 29 |
| 6 | 2017 | 9 | 16～ 17 | 新築工事現場内4階1号非常用電機室内で、電機システムにおける室内給気ダクトを施工中に壁貫通ダクトにファイアダンパに接続するため、当該ダンパを電動ウィンチにより吊り上げ、高所作業車に2名が乗車し、フランジを接合しようと吊り上げられた当該ダンパを高所作業車の作業床から人力によって押し込んだ反力の作用で、高所作業車が転倒し床に身体を打ちつける災害に至ったものである。 | 53 | 2 | 30201 | 1～9 |
| 7 | 2017 | 9 | 16～ 17 | 新築工事現場内4階1号非常用電機室内で、電機システムにおける室内給気ダクトを施工中に壁貫通ダクトにファイアダンパに接続するため、当該ダンパを電動ウィンチにより吊り上げ、高所作業車に2名が乗車し、フランジを接合しようと吊り上げられた当該ダンパを高所作業車の作業床から人力によって押し込んだ反力の作用で、高所作業車が転倒し床に身体を打ちつける災害に至ったものである。 | 44 | 2 | 30201 | 1～9 |
| 8 | 2017 | 8 | 9～ 10 | バスケット車のボックスに乗って、松の伐採作業中、次の枝を伐採するためにボックスを移動中、左手にはめていた手袋がバスケット車のウインチとボックスの間に挟まれ、左手が手袋と共に持っていかれ、左手の小指等を負傷した。 | 63 | 7 | 30309 | 1～9 |
| | | | | 8mの高さでダクトの吊り作業を行う際、高所作業車を用いて玉掛けを行った。吊り旋回をしたところ、架台とダクト | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|--|----|---|-------|-----------|
| 9 | 2017 | 8 | 11~ 12 | が引っ掛かり、クレーンに引き込む様に斜め吊りとなってしまう。そのため高所作業車に搭乗していた作業員が、クレーンオペレーターにブームを戻すように指示をしたが、引っ掛かりが外れて荷が振れ、高所作業車を押したことでバランスを崩し、クレーンにもたれかかる様に横転し、搭乗していた作業員2名が墜落した。その結果、1名は打撲、もう1名は右手指根元の骨折を負ったが、命に別状はなかった。 | 29 | 1 | 30302 | 1~9 |
| 10 | 2017 | 7 | 16~17 | 通信線現場調査終了後、高所作業車から降車時、バケット部から（2.0m付近）足を滑らせ、転落し、負傷した。当時、雨が降っていて滑りやすい状況だった。 | 35 | 1 | 30301 | 30~ 49 |
| 11 | 2017 | 7 | 11~12 | 現場において、変圧器の保守作業を実施。作業完了後、高所作業車のアウトリガを格納したところ、道路傾斜により、車両が前に動き出した。ブレーキにて停車をさせようと考え、運転席へ向かったところ、アウトリガと接触し受傷した。 | 37 | 6 | 11601 | 50~ 99 |
| 12 | 2017 | 7 | 11~12 | 屋根改修工事現場にて施工箇所から高所作業車への移動の際に転倒、高所作業車のバケットより地面へと落下した。 | 49 | 1 | 30209 | 1~9 |
| 13 | 2017 | 7 | 14~15 | 構内において、碍子の取り外し作業を高所作業車にて開始した。被災者が運転操作し高所作業車のバケットを碍子取り外し位置につけ、同乗作業員が鉄構ビームに金車を取り付けようとしたとき、何らかの原因でバケットが上昇し、被災者がバケットと鉄構ビームとの間に挟まれた。 | 26 | 7 | 30301 | 10~ 29 |
| 14 | 2017 | 7 | 14~15 | りんごのてき果作業中フライヤ（高所作業車）に乗っていて落下した。 | 39 | 1 | 60101 | 10~ 29 |
| 15 | 2017 | 6 | 11~ 12 | 店のサイン工事施工中、若干の傾斜地に駐車してあった高所作業車輛のアウトリガの収納作業をしていたところ、当該車輛のサイドブレーキのかけ方が緩かったため、アウトリガが外れたと同時に自然に当該車輛が後退し始め、慌てて | 40 | 6 | 30209 | 1~9 |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|---|----|---|-------|-----------|
| | | | | アウトリガーを再度かけようと操作したが間に合わず、そのまま後方に駐車中の他の車との間に挟まれたものである。 | | | | |
| 16 | 2017 | 5 | 14～ 15 | 店舗の看板取付け工事中、高所作業車をアウトリガーで地面に固定し、バケットを自ら操作し店舗屋根上の荷物を降ろす作業をしていたところ、ブーム後方旋回中にバケットが車道にはみ出し、そこへ大型トラックが減速せずに走行してきて衝突した。バケットから体が投げ出され、店舗の壁面にぶつかり、地面に落ちた。 | 29 | 6 | 11709 | 10～ 29 |
| 17 | 2017 | 5 | 15～ 16 | 高所作業台と開閉テントをロープでつないでいたため、開閉テントのスイッチを入れたら一緒に作業台が引っ張られ、ロープが切れて作業台が倒れた。 | 48 | 2 | 30203 | 1～9 |
| 18 | 2017 | 5 | 14～ 15 | 被災者は傾斜地で自走式高所作業車（キャタピラー）を使用してラッシング作業を終え、シメラーを取り外そうとして、バケットの位置を変えるため右側へ旋回した時、車体が浮き上がり後方に倒れた。 | 26 | 1 | 30301 | 10～ 29 |
| 19 | 2017 | 3 | 11～12 | 当社の農場において、トマトの誘引作業を行うため、高所作業車に上がろうとした際、手すりを掴んだ手が滑り、そのまま後ろに転落した。 | 51 | 1 | 60101 | 50～ 99 |
| 20 | 2017 | 2 | 17～18 | 高所作業車のステージで4人で作業をしていた。地上で打ち合わせをしようと、ステージを定位置に降ろした。車輛のステップを使って降りようとした時に、地上約1.5m位の所でステップを踏み外して地上に落下して頭を地面に打った。 | 60 | 1 | 30309 | 1～9 |
| 21 | 2017 | 2 | 2～3 | 工事指揮者他11名で構内の改良工事中、作業員が軌陸バケット車で鋼管ビーム付近のき電分岐の腕金手直し中、受傷者の補助ロープの取付フックが操作スイッチに触れた為、バケットが回転し、鋼管ビームとバケットに挟まれた。 | 68 | 7 | 30301 | 1～9 |
| | | | | 換気口フードを交換する為、高所作業車を2名の作業員中1名 | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-------|---|----|---|--------|---------|
| 22 | 2017 | 2 | 9~10 | がアウトリガーで車体の調整中に操作を誤り作業車が下がりバンパーと車止めの間に右足を挟み脛を開放骨折した。 | 37 | 7 | 30203 | 1~9 |
| 23 | 2017 | 1 | 3~4 | 宣伝ステッカーの貼り込み作業を高所作業車にて行っていたところ、バケットから手の届かないところへの張り込みがあったため、バケットから体を乗り出し、1階コンビニの看板屋根部分に足を掛け作業を行おうとしたが、安全帯が絡まりそれを外そうと試みた際に足を滑らせ落下し負傷した。 | 26 | 1 | 80209 | 1~9 |
| 24 | 2017 | 1 | 14~15 | 会社で高所作業車の修理中、シリンダー（部品）が滑って受け皿との間に右手が挟まれ出血し、右手小指を骨折した。 | 22 | 4 | 11701 | 1~9 |
| 25 | 2016 | 12 | 16~17 | 駐車場で、4tの高所作業車の清掃をしていた。高所作業車の横に付いているステップから降りようとした時、足を滑らせて落下し、その際に手と顔を強打した。 | 30 | 1 | 30301 | 10~29 |
| 26 | 2016 | 12 | 14~15 | 公道の交差点付近において、歩道に高所作業車を止め、アーム先端のバケットに乗り、道路照明設備の点検作業を行っていたところ、走行してきたトラックの天井部分とバケットの底部とが衝突し、被災者が投げ出されて負傷した。 | 43 | 1 | 11702 | 30~49 |
| 27 | 2016 | 11 | 11~12 | 被災者は鉄骨階段から9m程離れた位置の高所作業車に乗り、次作業の準備をしていた。鉄骨階段建起こし地切りの直後、鉄骨階段が2m程振れ、驚いた被災者は高所作業車から前向きに飛び降り着地した際に左膝を地面に強打した。 | 24 | 3 | 30201 | 1~9 |
| 28 | 2016 | 11 | 11~12 | 橋架の橋桁において橋架の劣化調査をしている時に、作業員同士のコミュニケーションが上手くいかず、橋架点検車と橋との間に頸部が挟まった。 | 30 | 7 | 170209 | 10~29 |
| 29 | 2016 | 11 | 12~13 | 被災者が電気工事作業現場に於いて交通誘導業務中、午前中の電気工事作業が完了し高所作業車の右後方にて規制資機材の片付けをしていたところ、作業員が高所作業車両のアウトリガーのジャッキを降ろした時、右手に持っていた案内看板と高所作業車の車体の突起部に右手人差し指が挟まれ負傷し | 66 | 7 | 170201 | 100~299 |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|---|----|----|--------|-------------|
| | | | | た。 | | | | |
| 30 | 2016 | 10 | 18～ 19 | 被災者は店舗外壁塗装工事に伴う整備業務に従事していた。別の作業者が運転する高所作業車を搬入口荷捌場から正面駐車場へ誘導しながら南側歩道を移動していたところ、前方より直進してくる自転車を発見した為、高所作業車を一旦停止させた。自転車が高所作業車の横を通過し終えるのを確認していたところ、高所作業車が突然動き始めたため避けきれず、高所作業車の左車輪に左脚を巻き込まれ、負傷した。 | 65 | 7 | 170201 | 300～ 499 |
| 31 | 2016 | 10 | 11～ 12 | 高所作業車のバック誘導中に足元のブルーシートがずれ転倒した。 | 32 | 2 | 170201 | 100～ 299 |
| 32 | 2016 | 10 | 11～ 12 | トマトのハウス内で、高所作業車で誘引作業をしている時、フットスイッチをふみはずし転落してしまい、お尻から落下し、挫傷した。 | 53 | 1 | 60101 | 1～9 |
| 33 | 2016 | 9 | 10～ 11 | 工事現場で高所作業車を駐車、荷台にあるカラーコーンを取ろうとしていた時、アウトリガーが下って来たのでカラーコーンを取って後に下ろうと思ったが間に合わずアウトリガーに右足親指を挟まれる。 | 55 | 7 | 170201 | 30～ 49 |
| 34 | 2016 | 9 | 9～ 10 | バイオマス発電の据え付け・組み立てにかかる発電所建屋内エンジン室の高所作業車の作業床上にて、スライド式の作業床を足で押し伸ばしたところ、手すりに設けてあったスライド固定用ピン挿入穴に、右手人差し指が入っており、指の腹側の肉がはさまれて負傷した。 | 41 | 7 | 30309 | 1～9 |
| 35 | 2016 | 8 | 15～ 16 | 工事を終え、帰社のため高所作業車を運転し、高速道路インター出口で降りるところ、眠気で通過しそうになり、助手席の同僚から声を掛けられ慌てて左に急ハンドルを切ったため横転し、頭部、頸部等を負傷した。 | 29 | 17 | 30309 | 1～9 |
| | | | | 工事を終え、帰社のため高所作業車（同僚が運転、被災者は | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|---|----|----|-------|-----------|
| 36 | 2016 | 8 | 15～ 16 | 助手席) で高速道路インター出口で降りるところ、運転者が眠気で通過しそうになり、被災者が声を掛けたところ慌てて左に急ハンドルを切ったため横転し、頭部頸部左腕、左手を負傷した。 | 30 | 17 | 30309 | 1～9 |
| 37 | 2016 | 8 | 15～ 16 | 工場の天井照明付近で、天井灯更新作業を行っていた時に、高所作業車の操作レバー周辺にたくさんの物がおいてあり、旋回レバーに何かが当たり、意図していない旋回をして、建屋梁と高所作業車のバケット上部との間に挟まれて被災した。 | 29 | 7 | 30301 | 10～ 29 |
| 38 | 2016 | 8 | 18～ 19 | 船体のみがき作業に使用した高所作業車を元の位置に戻す際、傾斜にさしかかりバランスをくずしかけた高所作業車を立て直そうと飛び降り、右かかとを負傷した。 | 38 | 3 | 80209 | 1～9 |
| 39 | 2016 | 8 | 3～4 | トンネル天井部の脆弱部を撤去するため、同僚2名と高所作業車のデッキ上で作業に従事していた。高所作業車のデッキを所定の位置にセットするために、センターライン付近の確認をしており、セット完了したところ、3tトラックがデッキに衝突した。衝突の衝撃で、デッキが一回転し、その際に同僚1名とともにデッキ外へ放り出され、アスファルト舗装上へ約4m落下し、叩き付けられた。 | 49 | 1 | 30309 | 10～ 29 |
| 40 | 2016 | 7 | 14～ 15 | 高所作業車に乗り、上昇中に手すり上段に手を置いていた為、鉄骨の梁と手が挟まり、骨折した。 | 39 | 7 | 30201 | 10～ 29 |
| 41 | 2016 | 6 | 11～ 12 | 付近路上において、外線工事に伴う配電線に接触する路上側の街路樹をタワー車で枝打ち作業を行っていた。作業及び片付けを終えた後、路上内側である住民の敷地内に伸びている枝の切除依頼が住民からあった。作業員の判断で作業を開始した。その際、タワー車のバケットの旋回中に伐採後の枝が作業員の顔面に直撃負傷した。 | 31 | 3 | 30203 | 1～9 |
| | | | | 個人住宅で、剪定する為、高所作業車に上がろうと1段目の | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|--|----|---|--------|-------------|
| 42 | 2016 | 6 | 11～ 12 | フロアーから階段を上がろうと進んだとき、バランスを崩して地面に落下した。その際、左足をひねり、左手を強打した。 | 62 | 1 | 60101 | 10～ 29 |
| 43 | 2016 | 6 | 17～ 18 | 鳥害対策忌避剤の設置完了後、周辺の清掃作業中、底部と梁の一部の汚れを高所作業車で掃除中に作業車の手摺と梁の間に左手を挟まれ負傷した。 | 49 | 7 | 80409 | 1～9 |
| 44 | 2016 | 4 | 15～ 16 | サービス工場内で、高所作業車に乗ってトラックの塗装作業をしているときに作業床から足を踏み外して、約1.5m下に落下し、頭、左肩、左脇腹、背中を打撲した。 | 39 | 1 | 80202 | 10～ 29 |
| 45 | 2016 | 4 | 16～ 17 | 工場内で、高所作業車修理作業中、油圧装置交換後試験運転の為、作業床を上昇させた。上昇後下降作業を行ったが下降しなかった為、バルブをゆるめてエアを抜き徐々に下降させていたが急に作業床が落下してきて右腕を挟まれた。 | 39 | 7 | 11702 | 1～9 |
| 46 | 2016 | 4 | 15～ 16 | 配電線工事現場にて交通誘導警備業務に従事中、作業箇所を移動する際に、禁止されている行為である、高所作業車後部ステップ部分に立ち、車体に掴まり移動してしまった。走行中、高所作業車が道路マンホールの段差を超えた際に、衝撃を受け右足に痛みを感じた。 | 63 | 6 | 170201 | 50～ 99 |
| 47 | 2016 | 3 | 2～3 | バケット車の箱から出て、車両後部の荷台へ降りようとしていた。2段の段差を降りている途中にロープが目にとまり、次の作業のことを考えながら工具入れ上部に左足から降りようとしたところ、放置していた綱線を踏み、すべってしまい、バランスを崩し、車両の左側に落下した。 | 50 | 1 | 30301 | 100～ 299 |
| 48 | 2016 | 3 | 11～ 12 | 高所作業車（4.0m）を使用し、大扉の塗装作業中に高所作業車がバランスを崩し転倒し、被災者が墜落した。 | 36 | 2 | 30309 | 1～9 |
| | | | | 搬出先において、高所作業機を現場から3tセルフ車で引き取り作業中、高所作業機に乗車し自走にてスライドさせたセルフ車の荷台に乗り込む際、セルフ車の荷台が短く、勾配がキ | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|--|----|---|--------|-----------|
| 49 | 2016 | 3 | 10～ 11 | ツイの勢いをつけて乗り込んだが、勢い余ってしまい高所作業機のフロント部分がバウンドし浮き始め、そのまま後方に転倒。高所作業機から落ちて被災者の右脚が高所作業機と地面の間に挟まってしまい脛部を骨折した。 | 74 | 2 | 40301 | 10～ 29 |
| 50 | 2016 | 3 | 8～9 | 敷地内で高所作業車から降りた際に荷締機具に上に乗ってしまい骨折した。 | 29 | 3 | 40301 | 10～ 29 |
| 51 | 2016 | 2 | 15～ 16 | レンタカー本店のスタッフ出入口の前の駐車スペースで、高所作業車の荷台にダンボールを積む作業をおこなう際に荷台の床が湿っていたので、フロントスタッフの3名でふき取り作業をしていた。ちょうど頭をあげた時に高所作業車のブームの部品部分に頭をぶつけて負傷した。 | 71 | 3 | 80409 | 30～ 49 |
| 52 | 2016 | 2 | 11～ 12 | 送電設備に伴う代採工事現場で、被災者が高所作業車の前から後方へ作業車の横を通り移動しようとした時、足を滑らせ咄嗟に手をついた。手をついたところが移動のためジャッキを格納中の高所作業車のジャッキベースバットであったためジャッキベースバットに指を挟まれ、中指環指、小指を挫創負傷した。 | 64 | 7 | 170201 | 50～ 99 |
| 53 | 2016 | 2 | 16～ 17 | 朝から電気配電線に支障となる立木の伐採作業を高所作業車を使用してほかの作業員2名と共に行っていた。夕方、作業場所を移動して再度高所作業者のバケットに乗り込む際、運転席上部のステップから足を滑らせて2m程下の道路上に落下した。 | 50 | 1 | 30301 | 10～ 29 |
| 54 | 2016 | 1 | 14～ 15 | 電柱の光ケーブル故障修理に伴い、交通誘導警備の為、バケット車を誘導停車後、アウトリガーで固定しようとしていた。路面状況によりジャッキベースを敷くこともあるが、修理従業員は敷く必要を感じなかったため、誘導警備員に敷く旨の指示をせず、アウトリガーを下に降ろした。一方、被災 | 49 | 7 | 170201 | 10～ 29 |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|--|----|---|--------|-----------|
| | | | | 者は、敷くものと自分で判断し敷板をアウトリガーの下に置いた為、下ってきたアウトリガーにより右手第3、4指が敷板と地面に挟まれ、骨折した。 | | | | |
| 55 | 2016 | 1 | 15～ 16 | 自動車道工事で、ネット設置のため高所作業車でデッキに乗り、墨出し作業（マーキング）をしていた。被災者が操作しデッキを上昇させた際、天井が近づきすぎたため、一旦停止後下降させようとしたが、レバー操作を誤り、上昇させてしまった。これにより、天井部とガード枠の間に頭が挟まれた。 | 47 | 7 | 30199 | 10～ 29 |
| 56 | 2016 | 1 | 10～ 11 | 監視カメラ撤去作業中、1台目の終了後にジャッキを降下させるスイッチを押したところ、バケットのジャッキに腰ベルトが引っかかり、トラックの荷台に引っかかり、地面に押しつけられた。 | 55 | 7 | 170209 | 10～ 29 |
| 57 | 2016 | 1 | 8～9 | キャタピラ式高所作業車を本社から資材置場へ移動させる為、本社駐車場でトラックに積み込む際、あゆみ板の所で雪の為高所作業車が滑り落ち、その反動で操作Box内にいた作業車が転落した。 | 40 | 1 | 30201 | 30～ 49 |
| 58 | 2015 | 12 | 9～ 10 | ドック内の船内でワイヤーエンドを取り外す為、スカイホークを使つての作業中、過ってスカイホークの作業範囲内に被災者が進入し、スカイホークのタイヤで左足を踏み、負傷した。 | 29 | 7 | 11501 | 1～9 |
| 59 | 2015 | 12 | 10～ 11 | ビル地下解体工事現場にて、被災者は、1FL-16mの作業盤で既存躯体の解体に伴う鉄筋切断作業を行っていた。被災者単独で高所作業車に乗り、既存躯体壁面の鉄筋柱切断の作業が完了したため、高所作業車のブームを上げたまま回転したところ、バランスが崩れて傾いた。その際、上部逆打新築鉄筋と高所作業車運転台の間に左腹部を挟み、被災した。 | 43 | 7 | 30209 | 10～ 29 |
| | | | 14～ | 交差点で高所作業車での作業が終了した後、バケットを戻す | | | | 10～ |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|---|----|---|--------|-------------|
| 60 | 2015 | 11 | 15 | 際に着地したところ、腰を痛めてしまった。 | 22 | 3 | 30301 | 29 |
| 61 | 2015 | 11 | 9～ 10 | 被災者が作業で使用する材料を取りに行くため、ブーム型高所作業車の立入禁止区画内に立入った時、別の作業員の運転する高所作業車の作業台が、被災者の上に降りて来て被災者の肩と接触し、下方向に押された。被災者は腰を強く曲げる姿勢となり、腰を痛めた。 | 28 | 7 | 30201 | 10～ 29 |
| 62 | 2015 | 10 | 9～ 10 | 被傷者は高所作業車のオペレーターと一緒に伐採作業を行っていた。タイヤ止め、ゴムマットをオペレーターが助手席側を前後セットし、被傷者は運転席側の後部をセット後、前輪の輪留めをセットし最後の前方アウトリガーの下に敷くゴムマットを敷こうとしている時、オペレーターからゴムマット等のセット完了の確認があったため、まだだと返答したが、オペレーターはオーケーだと聞き違いアウトリガーのオートスイッチを入れた。被傷者はゴムマットを敷こうとした時、アウトリガーが出ているのに気付くのが遅れて足が挟まれ負傷した。 | 45 | 7 | 30309 | 10～ 29 |
| 63 | 2015 | 10 | 23～ 24 | 高速道路のトンネル内照明器具の点検をしている際、リフト車から降車をしようとしたところ、車両に備え付けられているステップから足を踏み外し、右足踵を地面に強打して踵を骨折した。 | 51 | 1 | 170209 | 100～ 299 |
| 64 | 2015 | 10 | 14～ 15 | 光ファイバーの架設工事中、高所作業所から降りようとしたとき、雨が降っていたため足が滑り作業台（荷台）の上に尻もちをついた。その際、尾てい骨を骨折した。 | 42 | 1 | 30301 | 1～9 |
| 65 | 2015 | 10 | 8～9 | 交通誘導警備業務の為、現場手前の空き地に自家用車を駐車し、作業班の高所作業車の後部荷台（高さ約1.6m）に立って乗り、現場まで移動しようとした。時速約25kmで200m程走った所で、立って乗っていた為、体勢を崩し、アスファル | 67 | 1 | 170201 | 30～ 49 |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|--|----|----|--------|-----------|
| | | | | トの道路に転落し、左鎖骨骨折等の負傷をした。 | | | | |
| 66 | 2015 | 9 | 9～ 10 | 高所作業車で現場に向うためユニック車に積んであった荷物を移し替えようと高所作業車の後方に停め、荷物を移し替えていた所、高所作業車が突然後方に動き始めたので、とっさに左手を出した瞬間、高所作業車の後部が左腕に当たり負傷。 | 46 | 6 | 30301 | 10～ 29 |
| 67 | 2015 | 8 | 10～ 11 | 工場内において、I型鋼レール取外し工事を行っている際スカイデッキにてボルト及び溶接の取外しを行っていた。溶接が少し残っている部分があり工具にて溶接を外そうとし、工具が滑って外れバランスを崩し、スカイデッキ約4mの高さから転落した。 | 25 | 1 | 30309 | 10～ 29 |
| 68 | 2015 | 7 | 4～5 | 2メートル程度の作業車を使用し、建築用鋼材のボルトを外す作業を行っていた際に、誤って作業車から転落し負傷した。 | 39 | 2 | 30201 | 1～9 |
| 69 | 2015 | 6 | 11～ 12 | 屋根取付け工事において、作業終了後、高所作業車（クローラ式）にて屋根から2人乗車し下降した際、停車してあった場所が前方向に傾斜があった為、バランスを崩しそのまま前方へ倒れ作業台が地面に着きその勢いで外へ投げ出され左肘を地面等に打ち付け受傷した。 | 77 | 2 | 30201 | 1～9 |
| 70 | 2015 | 5 | 10～ 11 | 交差点の信号が黄色に変わったので停止した。その2秒程度後に、相手車両（軽トラック）が追突した。 | 42 | 17 | 30301 | 50～ 99 |
| 71 | 2015 | 5 | 15～ 16 | 屋外の高所作業車置場まで誘導中、搬出口に差し掛かり、警備員は搬出口の広さに問題がないかを考えて、高所作業車の進路上に立ち止まってしまった。振り返ると目前まで高所作業車が迫っており、避けることができずに高所作業車の左前輪にて、踏まれてしまった。 | 76 | 7 | 170201 | 10～ 29 |
| 72 | 2015 | 5 | 9～ 10 | ポールを吊る時高所作業車のウインチロープをおさえていて操作中に機械に挟まれた。 | 60 | 7 | 30203 | 10～ 29 |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-------|--|----|---|--------|---------|
| 73 | 2015 | 4 | 7～8 | 建柱車で穴掘をしようとしていて高所作業車が現場に入り誘導し始めた時、建柱車がバックしてハンドルをきった所タイヤに踏まれ鉄が入った安全靴を履いていたが鉄が潰れ左足の裏を負傷した。 | 53 | 7 | 30301 | 1～9 |
| 74 | 2015 | 3 | 17～18 | 電話線工事終了時の撤収作業中、警備員（被災者）が作業告知看板を片付けるために作業車（高所作業車）にて積込中、工事作業員が周辺確認しないままアウトリガーを下げたため、左足の親指を挟めて負傷した。 | 63 | 7 | 170201 | 30～49 |
| 75 | 2015 | 2 | 19～20 | 高所作業車にて鉄骨建方中に操作ミスで鉄骨（小屋梁）と高所作業車のかごに手を挟まれ受傷した。 | 30 | 7 | 30201 | 30～49 |
| 76 | 2015 | 2 | 5～6 | 高所作業車を移動しようとして、被災者が作業台に乗り込もうとした時に、高所作業車の手摺に頭をぶつけ（ヘルメット着用）そのはずみでコンクリートの床におしりから転落（約70cm）被災した。 | 65 | 1 | 30209 | 50～99 |
| 77 | 2015 | 2 | 14～15 | 引込高所作業車の荷台ステップ上で、屈んで材料を取った。その後、立ち上がった際、態勢を崩し荷台上で転倒した。 | 62 | 1 | 170209 | 100～299 |
| 78 | 2015 | 2 | 11～12 | 変圧器移設工事のため、トラックと高所作業車を縦列し、トラックの荷台に乗り、高所作業車の前部をジャッキアップした際、旋回台上部が下がり、トラックのパワーゲートの間に挟まれ負傷した。 | 31 | 6 | 30301 | 10～29 |
| 79 | 2014 | 12 | 15～16 | 緩やかな坂道で、高所作業車のアウトリガーを上げた時、サイドブレーキがあまく作業車が後退し塀と作業車に挟まれ右足を骨折した。 | 52 | 7 | 30302 | 1～9 |
| 80 | 2014 | 12 | 14～15 | 業務中バケット操作を誤り、ケーブル（吊線）とバケットBOXの間に右上腕部を挟み負傷した。 | 63 | 7 | 110101 | 30～49 |
| 81 | 2014 | 11 | 13～14 | 外部照明式棟識板の撤去作業のため、標識板裏面施工前調査の際、OV側面とバケットに高所作業補助員の指が挟まり | 30 | 7 | 30309 | 1～9 |

| | | | | | | | | |
|----|------|----|-----------|---|----|---|--------|-----------|
| | | | | 左手薬指を損傷した。 | | | | |
| 82 | 2014 | 11 | 11～ 12 | 変電所内整地作業に伴う事前準備として、電柱及び防護ネットの取り外しを行う為、高所に張っているワイヤーを切断していたところ、2段目のワイヤーを切断後バケット移動中に操作ミスにより手の指（薬指）を骨折した。 | 44 | 7 | 30209 | 30～ 49 |
| 83 | 2014 | 10 | 9～ 10 | 道路で街灯の点検をするため高所作業車に乗って作業を終えて降りてきた。バケットから荷台に下りる際に、荷台に置いてあった黒のゴムのベースジャッキが見にくく段差ができているところに降りてしまったために滑って溝にはまって足を捻った。 | 41 | 2 | 170209 | 1～9 |
| 84 | 2014 | 9 | 9～ 10 | 空調・衛星工事において、高所作業車を移動中、キャプタイヤを踏みそうだったので、停止させたところ、ダンボールが高所作業車のアウトリガー下部に引っ掛かってしまったので、アウトリガー下部に手を入れたら、操作者が高所作業車を動かした為、左手指がアウトリガーとスラブ面との間に挟まれ負傷した。 | 44 | 7 | 30309 | 1～9 |
| 85 | 2014 | 9 | 9～ 10 | 鉄骨造平屋工場建設工事現場で、梁の耐火被覆隠しの下地（LGS）の寸法を高所作業車で順次測定していた。高所作業車を次の測定場所へ動かそうとしたところ、操作を誤り操作盤と鉄骨梁との間に左手を挟まれた。 | 62 | 7 | 30201 | 1～9 |
| 86 | 2014 | 8 | 16～ 17 | 有線テレビの線にかかった雑木を高所作業車にて伐採中、伐採した木が線の張力の跳ね返りにより被災者にあたり負傷した。 | 30 | 6 | 30301 | 10～ 29 |
| 87 | 2014 | 7 | 10～ 11 | 物流センター倉庫内において、ホイストクレーン除去作業中、天井梁にクランプを掛けようと、高所作業車のバケットに乗り、本人の操作で上昇中、誤って作業車のバケットの手すりを握っていた右手が、上部にあったホイストクレーンのレールと手すりの間に挟まれ、負傷した。 | 54 | 7 | 30203 | 1～9 |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|-----------|--|----|----|--------|-------------|
| 88 | 2014 | 6 | 8～9 | 倉庫駐車場で、高所作業車の助手席側ドアを開け、隣の車両にドアが接触しないよう手を掛けた状態で荷物を積み込んでいたところ、隣に駐車中の作業車が突然前進したため、作業車のドアと前進した作業車のジャッキブームの収納部との間に腕を挟まれ、骨折した。 | 65 | 7 | 170201 | 50～ 99 |
| 89 | 2014 | 6 | 14～ 15 | 切断して落下させようとした梁部材が、高所作業車(H=9.0m)のブームに激突した衝撃でカゴが振られて、乗っていたAは手すりに右腹部をぶつけ、さらに反動でカゴから投げ出されて高所作業車に安全帯で宙吊りの状態となり受傷した。 | 43 | 1 | 30201 | 10000 ～ |
| 90 | 2014 | 5 | 15～ 16 | 高所作業車で補修塗装作業中、次の場所へ移動するためブームを縮めようと操作した際、誤ってデッキ旋回レバーを操作してしまい、デッキが回転、左腕がフランジとデッキ手すりの間に挟まれ、負傷した。 | 46 | 7 | 30105 | 1～9 |
| 91 | 2014 | 5 | 16～ 17 | 高所作業車を使用してALC外壁の鉄骨貫通部にロックウールを詰める作業を作業員1人で行っていた6階の室外機置場に片付けの指示に行ったところ、作業員が鉄骨と高所作業車に上半身を挟まれた状態で見つかり、意識はなく、緊急搬送されたが、病院にて心肺停止死亡を確認した。 | 46 | 7 | 30201 | - |
| 92 | 2014 | 5 | 17～ 18 | 休憩の為、店内バックルームを歩いて移動中、足をくじいた。 | 53 | 19 | 80209 | 100～ 299 |
| 93 | 2014 | 5 | 9～ 10 | 高所作業車に乗り工場外部に設置しているスタンション（鉄骨鋼材、幅約20cm）に給水管凍結防止ヒーターの取付作業中、フォークリフト通過のため高所作業車の自動格納スイッチを押しバケットを下げようとしたところ、アームの角度が低くバケットが上昇してしまい、その際にスタンションにこめかみ部をぶつけ受傷した。ヘルメットは着用して作業していた。 | 38 | 3 | 150101 | 10～ 29 |

| | | | | | | | | |
|-----|------|----|-----------|--|----|----|-------|-----------|
| 94 | 2014 | 3 | 9～ 10 | 工事現場にて高所作業車を使用し、社長と2名で乗り込み作業所内部（高さ約5mの位）の塗装作業中、塗装場所を変えるため社長が操作しバケットを移動していた際、誤ってバケットの外側に出していた被災者の左腕が作業所の鉄骨とバケットに挟まり負傷した。 | 67 | 7 | 30201 | 1～9 |
| 95 | 2014 | 3 | 10～ 11 | 高所作業車を操作中、周りに木などの障害物があり見えづらかったため、操作ペダルを踏んだまま左手は前の操作パネルにおき体をひねり後方を見ながら無理な体勢で作業をしていたため右膝をひねった。 | 53 | 19 | 80409 | 30～ 49 |
| 96 | 2014 | 3 | 15～ 16 | アンテナ工事に向かう準備で高所作業車のバケット内へセーフティーコーンを納める際、ステップを踏み外してしまい高さ約1.2mから転落し右肘、腰、背中を打撲した。 | 44 | 1 | 30301 | 1～9 |
| 97 | 2014 | 2 | 13～ 14 | 競馬場内で高所作業車に乗り樹木の伐採作業後、作業車から降りる際、カゴから荷台のステップに降り、そこから飛び降りた時、地面から張り出した木の根に右足が着地し、右足首を脱臼した。 | 66 | 1 | 30309 | 50～ 99 |
| 98 | 2014 | 1 | 13～ 14 | 引越作業現場において、会社の指示に反し現場作業員らの判断にて、特殊作業車（昇降機付きトラック）の荷台に積込中、バランスを崩して約3m～4m部分の荷台から地面へ落下、負傷したもの。 | 19 | 1 | 40301 | 30～ 49 |
| 99 | 2014 | 1 | 14～ 15 | 会社構内で工具点検を行っていた際、被災者が高所作業車右側上部の収納スペースの曲がり直し、右側後方から降りようとしたところ、右手にはめていた革手袋がブーム後方の角に引っかかり、地面に着いてなかった右足が伸びきり、右足膝下の外側に痛みを感じた。 | 44 | 19 | 30301 | 50～ 99 |
| 100 | 2013 | 12 | 15～ 16 | 高所作業車のバケットより作業床に降りた際、足を滑らせ、転倒した。 | 40 | 1 | 30301 | 30～ 49 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。